

2019年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年9月28日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2018年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第1四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第1四半期	15,389	4.6	50	50.9	67	41.7	40	45.3
2018年5月期第1四半期	14,710	7.6	103	14.2	115	14.3	74	78.0

(注) 包括利益 2019年5月期第1四半期 49百万円 (23.4%) 2018年5月期第1四半期 64百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第1四半期	3.07	
2018年5月期第1四半期	6.28	

(注) 2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第1四半期	18,798	4,470	23.8	337.40
2018年5月期	18,582	4,467	24.0	337.18

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 4,470百万円 2018年5月期 4,467百万円

(注) 2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		3.50		3.50	7.00
2019年5月期					
2019年5月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	5.0	260	14.9	280	11.2	173	17.7	13.06
通期	62,600	3.4	870	4.0	900	3.6	570	1.6	43.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期1Q	13,450,800 株	2018年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2019年5月期1Q	200,012 株	2018年5月期	200,008 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期1Q	13,250,792 株	2018年5月期1Q	11,843,192 株

(注)2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は十分な回復までには至らず、米国の通商政策の変化による世界経済への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、依然として消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費や物流費の上昇などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は153億89百万円（前期比4.6%増）、営業利益は50百万円（前期比50.9%減）、経常利益は67百万円（前期比41.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前期比45.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（外商事業）

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組む、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は102億6百万円（前期比3.7%増）、営業利益は22百万円（前期比41.3%減）となりました。

（アマカ事業）

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、新規店舗が寄与し売上が伸びました。新規出店については、2018年7月に浜松上浅田店（浜松市中区）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は46億80百万円（前期比3.4%増）、営業利益は2億80百万円（前期比10.7%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として46店舗であります。

（水産品事業）

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組む収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は5億26百万円（前期比45.9%増）、営業利益は8百万円（前期比15.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が4億6百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1億85百万円、商品が3億37百万円増加したこと等により、流動資産は全体で1億56百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が48百万円減少したものの、投資有価証券が1億13百万円増加したこと等により、全体で58百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して2億15百万円増加し、187億98百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して1年内返済予定の長期借入金が1億15百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億58百万円増加したこと等により、流動負債が全体で4億51百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が2億50百万円減少したこと等により、全体で2億39百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して2億12百万円増加し、143億27百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、44億70百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想につきましては、2018年7月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,823	791,288
受取手形及び売掛金	5,155,505	5,341,468
商品	3,651,417	3,989,271
貯蔵品	25,302	24,656
その他	828,870	868,857
貸倒引当金	△7,191	△6,946
流動資産合計	10,851,728	11,008,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,332,413	3,284,007
その他(純額)	1,408,426	1,430,796
有形固定資産合計	4,740,840	4,714,803
無形固定資産	34,297	30,519
投資その他の資産		
投資有価証券	1,121,007	1,234,906
その他	2,312,294	2,286,589
貸倒引当金	△477,479	△477,381
投資その他の資産合計	2,955,822	3,044,114
固定資産合計	7,730,959	7,789,437
資産合計	18,582,688	18,798,035

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,257,550	6,816,364
短期借入金	2,339,000	2,638,000
1年内返済予定の長期借入金	1,324,619	1,209,446
未払法人税等	196,308	24,022
賞与引当金	201,759	104,253
ポイント引当金	20,732	18,149
その他	998,308	979,515
流動負債合計	11,338,278	11,789,750
固定負債		
長期借入金	1,447,109	1,196,864
役員退職慰労引当金	237,504	220,402
退職給付に係る負債	338,672	347,216
資産除去債務	309,406	310,863
その他	443,786	462,113
固定負債合計	2,776,480	2,537,459
負債合計	14,114,758	14,327,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,407,661	2,401,977
自己株式	△33,901	△33,904
株主資本合計	4,430,303	4,424,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,971	45,507
繰延ヘッジ損益	△141	381
退職給付に係る調整累計額	△203	317
その他の包括利益累計額合計	37,626	46,207
純資産合計	4,467,929	4,470,824
負債純資産合計	18,582,688	18,798,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
売上高	14,710,699	15,389,444
売上原価	11,995,660	12,573,545
売上総利益	2,715,039	2,815,899
販売費及び一般管理費	2,611,944	2,765,323
営業利益	103,094	50,576
営業外収益		
受取利息	3,270	3,085
受取配当金	6,976	1,555
受取賃貸料	16,888	22,588
受取手数料	5,554	5,605
その他	7,069	11,449
営業外収益合計	39,760	44,285
営業外費用		
支払利息	7,407	6,316
賃貸費用	18,286	18,053
固定資産除売却損	231	906
その他	1,464	2,238
営業外費用合計	27,389	27,514
経常利益	115,464	67,346
税金等調整前四半期純利益	115,464	67,346
法人税、住民税及び事業税	2,338	8,962
法人税等調整額	38,700	17,690
法人税等合計	41,038	26,652
四半期純利益	74,425	40,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,425	40,694

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	74,425	40,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,900	7,536
繰延ヘッジ損益	△5	523
退職給付に係る調整額	819	521
その他の包括利益合計	△10,086	8,580
四半期包括利益	64,338	49,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,338	49,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年6月1日 至2017年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,842,466	4,522,633	340,364	14,705,464	5,235	—	14,710,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	340	5,336	20,507	26,183	—	△26,183	—
計	9,842,806	4,527,969	360,871	14,731,648	5,235	△26,183	14,710,699
セグメント利益	38,530	314,470	9,900	362,901	1,739	△261,546	103,094

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△261,546千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,206,268	4,674,282	503,591	15,384,142	5,302	—	15,389,444
セグメント間の内部売上高又は振替高	347	6,018	22,933	29,299	—	△29,299	—
計	10,206,615	4,680,301	526,525	15,413,442	5,302	△29,299	15,389,444
セグメント利益	22,599	280,864	8,394	311,857	2,151	△263,432	50,576

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△263,432千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。